

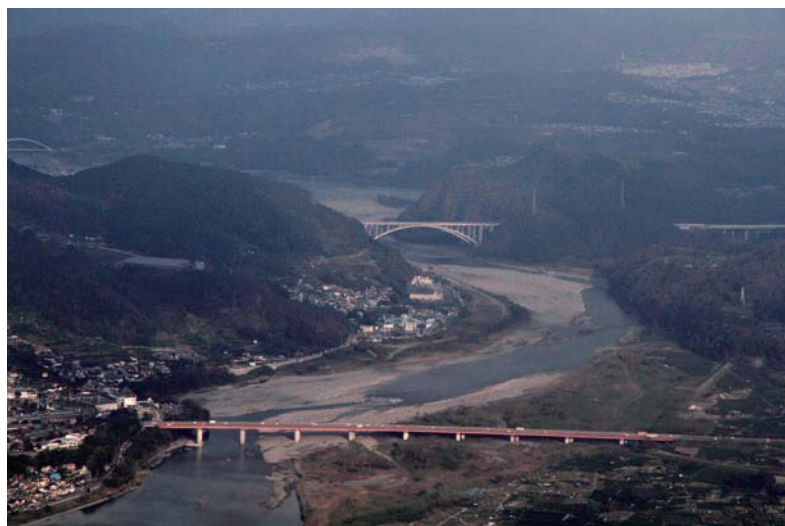
## 新東名高速道路

東名高速道路と新東名高速道路は御殿場で分岐したのち、清水と引佐の2つの連絡路でつながれてネットワークとして一体的に運用される。上の写真は清水連絡路であるが、周囲の景観とマッチした機能的な美しさを見せている。

新東名高速道路は渋滞緩和、高速性・定時性の確保の狙いもあり、より直線性が高く、傾斜も小さく設計されていることに加え、比較的平坦な場所を通る東名高速道に比べて路線が約10km北側の山地南端を通るので、トンネル、橋梁が多用されている。これらの施設には高い技術が投入され、土木学会賞等の授賞対象となった施設も数多く含まれる。左下の写真奥の新富士川橋も土木学会田中賞を受賞している。



清水連絡路 (NEXCO中日本提供)



富士川橋  
(NEXCO中日本提供)

過去の「国土の姿を見る」画像集は次のURLでご覧いただけます。[http://www.jacic.or.jp/books/jacicjoho/kokudo/kokudo\\_index.html](http://www.jacic.or.jp/books/jacicjoho/kokudo/kokudo_index.html)